

信和建設(男子)が4連覇

女子OTCくきや制す

バスケットボール

兵庫実業団選手権

バスケットボールの兵庫実業団選手権最終日は5日、加古川市の神鋼

加古川市体育館で男女の決勝などがあり、男子は信和建設が4年連続4度目の優勝を飾った。実業団チームの減少で2007年を最後に開かれていたを重ね、83-56で三菱電

かった女子は、OTCくきやが同年以来7年ぶり16度目の頂点に立った。男子決勝は、信和建設が堅守から効率よく得点を重ね、83-56で三菱電

【男子】7位決定戦 日本包装運輸79-58新日鉄住金尼崎▽5位決定戦 大阪チタニウムテックノロジス89-80アシックス▽3位決定戦 神戸市役所78-66アスタ

▽決勝
 信和建設 83
 26161427
 19101413
 56
 三菱電機
 機三田

OTC
 くきや 66
 18201810
 8101419
 41
 ASハ
 リマ



男子決勝・信和建設一三菱電機三田第2クォーター、果敢にシュートを狙う信和建設の長尾

機三田に快勝。女子決勝はOTCくきやが後半に運動量で上回って突き放し、66-41で新チームのASハリマを破った。男子の上位7チームと女子の全2チームは近畿実業団選手権(9、10月・大阪市中央体育館)ほかに出場する。

堅守速攻、王者盤石

3年連続同一カードとなった男子決勝は、昨年の延長戦から一転、王者の信和建設が力の差を見せつけた。第1クォーターから一時最大20点を先行し、「安心して見ていられた」と福島監督がうなずく盤石の試合運びだった。

昨季までの先発3人を負傷などで欠いた分、決勝は相手の得点源2人を封じるチーム全体の守備意識が結果。堅守から素早く攻撃につなげ、栗山新らが内角中心に確実に

OTCくきや・石井愛主将(7年ぶり開催の女子決勝で貫禄勝ち)「守備やリバウンドなどの基本的な部分はまだまだで、最後は(少人数の相手に)体力で勝てただけ。もっと全員で連携したプレーをして、近畿実業団選手権を制したい」

得点した。さらに、京産大出身の新人丹羽が「好位置から、気持ちよくシュートが打てた」と、3点シュート5本などで19得点。新戦力の台頭も収穫となった。

チームは発足4季目を迎え、来年1月の全日本実業団選手権で初の決勝トーナメント進出を目指す。場主将は「全国レベルで戦うためには筋力強化で体格差を補い、チームプレーを磨きたい」と課題を挙げた。

早く攻撃につなげ、栗山新らが内角中心に確実に

(井川朋宏)